

2024（令和6）年度

1日[*]

地理歴史（日本史）

注 意

1. 監督者の指示があるまでは、問題を見ないこと。
2. 問題は声を出して読まないこと。
3. 問題は20ページ、**①**、**②**、**③**、**④**、**⑤**の5題から成っている。
4. 問題や解答用紙に落丁、乱丁、汚損あるいは印刷不鮮明の箇所などがあれば、手をあげて監督者に申し出ること。内容に関する質問は受けつけない。
5. 解答は必ず**黒色鉛筆**を使用し、**解答用紙に記入すること**。
6. すべての解答は、それぞれの解答欄の記号（㊦ ㊧ ㊨ …）に**マークすること**。
7. 訂正箇所は、消しゴムで**完全に消すこと**。
8. 解答に関係のない符号（? √など）や文字は記入しないこと。
9. 解答用紙を**折ったり汚したりしないこと**。
10. 人名・地名などについては、新字体に改めているところがある。

1 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

5世紀以降の朝鮮半島では国々の対立が続く中で、ヤマト政権は加耶諸国と密接な関係をもっていたが、6世紀初めに加耶西部に対する百済の支配権が確立したことを失政とされ、が勢力を失ったとされる。政権内での勢力争いはその後も続き、587年には大きな事件がおこった。

国家体制を整えた唐が、7世紀半ばに高句麗への侵攻を開始すると、東アジアでは緊張が高まり、周辺諸国では政治体制の確立や国内の統一が課題となった。倭では、天皇のときに蘇我蝦夷・入鹿が滅ぼされる乙巳の変がおこった。新政権が発足すると、翌年には「改新の詔」により新たな政治の方針が示されたといわれる。

7世紀後半、倭は、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗したのち、防衛体制や政治基盤の整備を急いだ。その後、大友皇子と大海人皇子の間で、皇位継承をめぐる壬申の乱がおこった。戦いに勝利した大海人皇子はで即位し、中央集権的国家の建設を進めた。

8世紀初めには大宝律令が完成し、律令国家としての体制がほぼ整った。708年に国から銅が献上されると、政府は和同開珎を鑄造し、その流通を促した。都も平城京に遷され、都と地方の国府を結ぶ道路が整備されて、約16kmごとにを設ける制度がつくられた。律令制のもとでは農民には口分田が与えられる一方で、さまざまな負担が課せられた。

問1 空欄1について、適当なものを選びなさい。

ア. 物部尾輿 イ. 大伴金村 ウ. 穴穂部皇子 エ. 有間皇子

問2 下線部(a)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 大臣の蘇我馬子が大連の物部守屋を滅ぼした。
- イ. 厩戸王の子の山背大兄王が自殺に追い込まれた。
- ウ. 筑紫国造磐井がヤマト政権に反乱をおこした。
- エ. 右大臣蘇我倉山田石川麻呂が自殺した。

問3 空欄2について、適当なものを選びなさい。

- ア. 孝徳
- イ. 皇極
- ウ. 崇峻
- エ. 舒明

問4 下線部(b)の内容に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 豪族の所有する田荘や部曲を廃止することにした。
- イ. 豪族には新たに子代や屯倉を与えることが決められた。
- ウ. 功績に応じて冠位を個人に与えることが定められた。
- エ. 「篤く三宝を敬へ」と仏教を尊重することが強調された。

問5 下線部(c)に関連して、この時期の施策を年代順（古い→新しい）に並べたものとして、適当なものを選びなさい。

- ア. 近江大津宮への遷都→庚午年籍の作成→水城の構築
- イ. 近江大津宮への遷都→水城の構築→庚午年籍の作成
- ウ. 水城の構築→庚午年籍の作成→近江大津宮への遷都
- エ. 水城の構築→近江大津宮への遷都→庚午年籍の作成

問6 空欄3について、適当なものを選びなさい。

- ア. 難波宮
- イ. 恭仁京
- ウ. 飛鳥浄御原宮
- エ. 藤原京

2 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

14世紀前半、鎌倉幕府が滅亡した後に成立した建武政権は、政治機構として幕府の引付を受け継いだ 1 を設置するなど、公武の折衷を図る側面もみられた。しかし、足利尊氏の反乱により、後醍醐天皇が吉野に逃れると、南北朝の動乱が始まった。

成立した室町幕府は、長引く動乱の中で任国内の荘園・公領に対する守護の権限を拡大していった。領国支配を強めた守護には、周防や長門など6カ国の守護であった 2 のように幕府と対立する者もあらわれた。

また、畿内近国の荘園や公領の内部では、惣村とよばれる自立的な村が成立しており、その構成員であった惣百姓らは、しだいに自治的な動きを強め、権力者に抵抗することもあった。室町時代には、農業の分野でさまざまな発展がみられ、生産力も向上した。農村加工業も発達し、多くの品々が商品として流通するようになり、京都などの大都市では、 3 をそなえた常設の小売店もめずらしくなかった。

1467年に始まった応仁の乱は、主戦場となった京都を荒廃させ、東西両軍の和議が成立した後も多くの地域で争乱が継続した。南山城では、1485年にこの地で両派に分かれて争う 4 氏の軍を、国人たちが国外に退去させるという事件もおこった。

こうした中で、地域に根差した実力者が台頭し、自らの領地で独自の支配を行う戦国大名に成長した。戦国大名の中には、領国支配の強化を目的に分国法や家訓を制定する者もいた。この時代には、領国内で城下町や港町などが発展した。また、伊勢の宇治・山田などの門前町や摂津の石山、河内の 5 などの寺内町も繁栄した。このような都市の発達や交通網の整備などにより、経済は発展していった。

問1 空欄1について、適当なものを選びなさい。

- | | |
|--------|----------|
| ア. 公文所 | イ. 問注所 |
| ウ. 武者所 | エ. 雑訴決断所 |

問2 下線部(a)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 守護が、荘園領主などに年貢徴収を請け負わせる守護請が行われた。
- イ. 従来の大犯三カ条に、謀叛人と殺害人を逮捕できる権限が加わった。
- ウ. 土地争論に関する幕府の判決を、強制的に執行できる権限を獲得した。
- エ. 荘園や公領の年貢の半分を徴収する、下地中分という権限を得た。

問3 空欄2について、適当なものを選びなさい。

- ア. 大内義弘 イ. 山名氏清 ウ. 土岐康行 エ. 赤松満祐

問4 下線部(b)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 惣村では、村民自身が警察権を行使する地下検断を実行することがあった。
- イ. 惣村の年貢は、個々の村民が責任をもって納める地下請が一般的であった。
- ウ. 正長の徳政一揆では、惣村の結合をもとにした村民たちが京都の土倉や酒屋を襲ったため、幕府は徳政令を発布した。
- エ. 嘉吉の徳政一揆では、守護の富樫政親を倒し、約100年にわたる自治を実現した。

問5 下線部(c)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 水稻の品種改良が進み、早稲・中稲・晩稲の作付けが普及した。
- イ. 苧・藍などの栽培が行われ、加工されて商品として流通するようになった。
- ウ. 畿内では二毛作に加えて、三毛作が行われる地域もあった。
- エ. それまで広く使われていた下肥に代わって、刈敷や草木灰が広く用いられるようになった。

問6 空欄3について、適当なものを選びなさい。

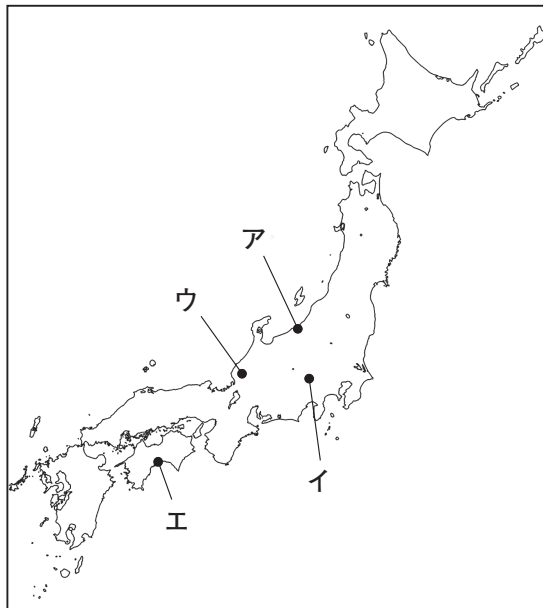
- ア. 掛屋 イ. 見世棚 ウ. 振売 エ. 問丸

問7 空欄4について、適当なものを選びなさい。

- ア. 斯波 イ. 京極 ウ. 畠山 エ. 一色

問8 下線部(d)に関連して、次の条文を含む家訓を制定した戦国大名が治めた城下町のあった場所として、最も適当なものを地図から選びなさい。

朝倉が館たちほか之外、国内かまへ□城郭を構かませましく候。惣ぶげん別分限いちじょうだにあらん者、一乗谷ひっこしへ引越、郷村には代官ばかり置かるべき事。



問9 空欄5について、適当なものを選びなさい。

- ア. 富田林 イ. 今井 ウ. 山科 エ. 小浜

問10 下線部(e)に関連して、戦国時代の経済・交通などに関する記述として、適当なものを選びなさい。

ア. 洪武通宝などの宋銭が広く使用され、撰銭はすたれた。

イ. 東廻り・西廻り海運が整備され、割符を用いた遠隔地の取引が盛んになった。

ウ. 多くの領国内で関所が撤廃され、商業取引が活発になった。

エ. 日明貿易に従事した博多の会合衆などの豪商は、東南アジア方面にも盛んに船を出した。

3 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

16世紀になると、ポルトガル人やスペイン人がアジアの通商圏に本格的に参入し、日本とも貿易を開始した。これらの国々はキリスト教の布教も進めたため、商人だけでなく宣教師もつぎつぎと来日した。当時の日本は戦国の争乱の最中であつたが、その中には、比叡山延暦寺を焼打ちし、本願寺の を屈伏させた織田信長のように、敵対した仏教勢力を弾圧する一方で、キリスト教の布教には寛容な大名もいた。

信長の後継者となつた豊臣秀吉は、全国統一を進める過程で、キリスト教の布教を警戒するようになったが、利益が大きい貿易を奨励した。こうした状況を背景に、ヨーロッパの文化が日本に流入し、活字印刷術の伝来により、この時期に も出版された。

江戸幕府を開いた徳川家康は、スペインとの貿易に積極的であつた。仙台藩主も家臣の をスペインに派遣して、メキシコと通商関係を結ぼうとした。このころは朱印船貿易も活発であり、1630年代まで行われた。一方、この時期の幕府は、国内政治には不安定な要素を残しており、朝廷との間でも がおこり、天皇が幕府の同意なく退位する事態に至つた。

幕府は、段階的にいわゆる「鎖国」状態への移行を図つていったが、その一方で、職制を整備し大名統制を強化した。諸藩でも藩政の安定と経済の発展が目指され、藩主の中には、 のように、儒学者の熊沢蕃山を重く用いて藩政を刷新しようとする者もあらわれた。

問 1 下線部(a)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 宣教師たちは、南蛮寺やコレジオ・セミナリオなどをつくって、布教につとめた。
- イ. ヴァリニャーニの勧めにより、大友義鎮らは、少年使節をローマ教皇のもとに派遣した。
- ウ. フランシスコ＝ザビエルは、鹿児島に到着し、布教を開始した。
- エ. ガスパル＝ヴィレラは、織田信長らの保護を受け、『日本史』を著した。

問 2 空欄 1 について、適当なものを選びなさい。

- ア. 顕如
- イ. 蓮如
- ウ. 覚如
- エ. 一如

問 3 下線部(b)の政策に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 枅の容量を宣旨枅に統一し、村ごとに田畑や屋敷地の面積を調査して石高を定めた。
- イ. 武家奉公人が町人・百姓になることなどを禁じた。
- ウ. 名護屋の宗氏を通して行った朝鮮への要求が拒否されたため、2度にわたり出兵した。
- エ. キリシタン大名の有馬晴信が長崎をイエズス会に寄進したことを知り、バテレン追放令を出した。

問 4 空欄 2 について、適当なものを選びなさい。

- ア. 黄表紙
- イ. 天草版
- ウ. 絵草紙
- エ. 浮世草子

問5 下線部(c)の外交・貿易政策に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. イギリス商人の利益独占を防止するため、糸割符制度を設けた。
- イ. リーフデ号の水先案内人のウィリアム＝アダムズを外交顧問にした。
- ウ. 琉球との間に己酉約条を結び、使節の往来や貿易を開始した。
- エ. キリスト教の禁教令を出し、元和の大殉教とよばれる弾圧を行った。

問6 空欄3について、適当なものを選びなさい。

- ア. 田中勝介 イ. 末次平蔵 ウ. 山田長政 エ. 支倉常長

問7 下線部(d)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 朱印船を出した大名には島津家久らがいた。
- イ. 京都の茶屋四郎次郎などの豪商も関わった。
- ウ. おもな輸出品は絹織物、鹿皮などであった。
- エ. おもな輸入品は生糸、砂糖などであった。

問8 空欄4について、適当なものを選びなさい。

- ア. 明和事件 イ. 紫衣事件
- ウ. 方広寺鐘銘問題 エ. 尊号一件

問9 下線部(e)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 幕府は、長崎・対馬・薩摩・堺の四つの窓口を通して、異国・異民族との交流をもった。
- イ. 長崎に来航する貿易船はオランダ船のみになり、海外情報もほとんど伝わらなくなった。
- ウ. 琉球王国は、島津氏の侵略を受けた後は、將軍の代替わりごとに謝恩使を幕府に派遣するようになった。
- エ. 島原の乱を鎮圧した後、幕府はポルトガル船の来航を禁止した。

問10 空欄5について、適当なものを選びなさい。

ア. 池田光政 イ. 上杉治憲 ウ. 佐竹義和 エ. 前田綱紀

4 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

1912年に明治天皇が死去し、新天皇が即位して大正時代が始まった。その年の暮れに、1 の総裁を首班とする第2次西園寺公望内閣が総辞職した後に、内大臣兼侍従長であった桂太郎が組閣した。これを非難する政党や民衆が協調した動きをみせ、桂内閣を2カ月足らずで退陣に追い込んだ。

明治期にめばえた社会主義運動は、大逆事件を機に一時身動きがとれなくなったが、そうした中で国民の政治への関心を高めたのが、このころ美濃部達吉が『2』で発表した天皇機関説などであった。

その後、第一次世界大戦に参戦した日本には、「大戦景気」とよばれる空前の好景気が訪れた。3 内閣は、大戦中におこったロシア革命への干渉戦争であるシベリア出兵に参加したが、国内では米騒動が発生し、その責任を追及されて総辞職した。これに代わって国民の期待を背負って登場した原敬首相が国政を担った。

大正中期から昭和初期にかけては、タイピストなどの仕事に就く女性も増え、4 とよばれた。この時期、新聞をはじめとするマスメディアの発達を背景に、労働者やサラリーマンなどの一般勤労者を担い手とする大衆文化が誕生した。都市部やその郊外では交通網も発達し、阪神急行電鉄の5 は沿線の住宅開発を進めるとともに、宝塚少女歌劇団などを発展させた。

また、ロシア革命や米騒動などをきっかけに、社会運動も活発になり、有権者の増大や新しい思想などを背景に、大正デモクラシーとよばれる風潮が広がった。

問1 空欄1について、適当なものを選びなさい。

- ア. 立憲国民党
- ウ. 立憲同志会

- イ. 立憲政友会
- エ. 立憲民政党

問2 下線部(a)の首相在任時におきた出来事として、適当なものを選びなさい。

- ア. 南満州鉄道株式会社の設立
- イ. 日清戦争の勃発
- ウ. 鉄道国有法の成立
- エ. 韓国併合条約の調印

問3 空欄2について、適当なものを選びなさい。

- ア. 憲法講話
- イ. 国民之友
- ウ. 自由之理
- エ. 日新真事誌

問4 下線部(b)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 多数の民衆が物価の高騰で苦しんだ。
- イ. 世界的な船舶不足により、日本の海運業や造船業は大きな利益を上げた。
- ウ. 工業原動力の蒸気力から電力への転換が推し進められた。
- エ. 日本製鉄会社が設立され、鉄鋼業が発展した。

問5 空欄3について、適当なものを選びなさい。

- ア. 加藤高明
- イ. 大隈重信
- ウ. 山県有朋
- エ. 寺内正毅

問6 下線部(c)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 華族でもなく、政党にも所属していなかったので「平民宰相」とよばれた。
- イ. 首相在任時に、戦後恐慌と震災恐慌が相次いで発生したため、日本経済は打撃を受けた。
- ウ. 選挙制度の改革に取り組み、小選挙区制を導入し、選挙権の納税資格を撤廃した。
- エ. 高等学校令にもとづき高等学校の増設を進め、大学令で私立大学の設置を認めた。

問7 空欄4について、最も適当なものを選びなさい。

- | | |
|---------|--------------|
| ア. 女工 | イ. キャリア・ウーマン |
| ウ. 職業婦人 | エ. モガ |

問8 下線部(d)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 児童文芸雑誌の『我楽多文庫』や大衆娯楽雑誌の『キング』などが発行された。
- イ. 東京・大阪などでラジオ放送が開始され、日本放送協会（NHK）が設立された。
- ウ. 小山内薫らにより築地小劇場が創設され、そこでは歌舞伎や能がさかんに上演された。
- エ. 日活や松竹などの映画会社が、トーキーと呼ばれた無声映画の製作や上映を始めた。

問9 空欄5について、適当なものを選びなさい。

- | | |
|---------|---------|
| ア. 野口遵 | イ. 小林一三 |
| ウ. 渋沢栄一 | エ. 五代友厚 |

問10 下線部(e)に関連して、この時期におきた社会運動に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 不況下で組織された日本労働組合評議会は、階級闘争主義から労資協調へと方針を転換した。
- イ. 小作料の引き下げを求める小作争議が頻発し、それを支援して農業協同組合が結成された。
- ウ. 平塚らいてうらが青鞥社で活動し、その後女性の参政権を要求する新婦人協会が組織された。
- エ. 部落差別に苦しむ人々の解放をめざして、政府に融和政策を求める部落解放同盟が結成された。

5 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

浜口内閣の協調外交を批判し、「満蒙の危機」を叫んでいた関東軍は、参謀の [1] を中心として1931年9月に南満州鉄道の線路を爆破し、軍事行動を開始した。そして翌年には、「満州国」の建国を宣言させたが、列強はこれを激しく非難し、日本は国際的な孤立を深めていった。このころから軍人や右翼による国家改造運動が活発になり、陸軍の桜会が中心となって、軍部政権を樹立しようとした [2] などがおこった。

1937年に盧溝橋事件がおこると、日本軍は戦線を広範囲に拡大したので、日中戦争が始まり、アメリカ・イギリスと日本との関係も悪化した。第二次世界大戦が始まった後、日本はドイツやイタリアとの提携を深めるとともに、1941年4月には外相 [3] がモスクワで日ソ中立条約を結んだ。日米交渉も開始されたが、南部仏印進駐を実行した日本に対して、アメリカも対抗手段をとったため、^(c)陸軍を中心に早期開戦の主張が高まった。

1941年12月、ついに太平洋戦争が開始されたが、半年後には米軍の攻勢が強まり、以後戦局は悪化の一途をたどり、1945年8月に日本は敗戦した。連合国による対日占領政策決定の最高機関として、ワシントンに [4] が設けられたが、現実にはアメリカ政府の占領政策にもとづいて改革が実施された。^(d)

主権を回復した日本では、1955年に日本民主党と自由党が合流して自由民主党が結成された。このころから日本は高度経済成長期に入り、年平均10%前後の経済成長が続いたが、1970年代の国際情勢の影響をうけて、高度成長は終焉を迎えた。^(f)

問1 空欄1について、適当なものを選びなさい。

ア. 石原莞爾

イ. 河本大作

ウ. 宇垣一成

エ. 荒木貞夫

問2 下線部(a)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 建国時に執政であった溥儀は、のちに皇帝となった。
- イ. 首都は、新京（長春）とされた。
- ウ. 犬養毅内閣は、日満議定書を結んで承認した。
- エ. 日本軍の無条件駐屯を認めた。

問3 下線部(b)に関連して、1930年代の日本の軍事・外交に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 日本は山東省のドイツ権益の継承などを求めて、二十一カ条の要求をおこなった。
- イ. 河北省冀東地区からの日中両軍の撤退などを決めた塘沽停戦協定が結ばれた。
- ウ. 日本軍は、国民革命軍との間で武力衝突をおこし、一時済南城を占拠した。
- エ. 中国（南京）の汪兆銘政権や東南アジア各国の代表者を集めて大東亜会議を開いた。

問4 空欄2について、適当なものを選びなさい。

- ア. 血盟団事件
- イ. 虎の門事件
- ウ. 三・一五事件
- エ. 十月事件

問5 空欄3について、適当なものを選びなさい。

- ア. 広田弘毅
- イ. 松岡洋右
- ウ. 野村吉三郎
- エ. 内田康哉

問6 下線部(c)に関する記述として、最も適当なものを選びなさい。

- ア. 日系アメリカ人を強制収容所に収容した。
- イ. 日本軍の中国からの全面撤退を要求した。
- ウ. 石井・ランシング協定の破棄を日本に通告した。
- エ. 在米日本資産の凍結と対日石油輸出禁止を決定した。

問7 空欄4について、適当なものを選びなさい。

- ア. 最高司令官総司令部
- イ. 安全保障理事会
- ウ. 極東委員会
- エ. 対日理事会

問8 下線部(d)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 公布された新憲法に基づき、労働組合法が制定された。
- イ. 学校教育法が制定され、六・三・三・四制の新学制が発足した。
- ウ. 農地改革が行われ、全農地の5割程度にまで小作地が減少した。
- エ. ドッジ＝ラインの一環として、金融緊急措置令が出された。

問9 下線部(e)におきた出来事として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 経済企画庁は、1956年度の『経済白書』の中で「もはや戦後ではない」と記した。
- イ. 池田勇人内閣は、「国民所得倍増計画」を打ち出し、高度成長を促進する政策を行った。
- ウ. IMF 8 条国に移行し、経済協力開発機構（OECD）に加盟した。
- エ. 農業基本法が制定され、農業の生産性が向上し、カロリーベースの食料自給率が上昇し続けた。

問10 下線部(f)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 南ベトナム政府を支持するアメリカが、北爆を開始した。
- イ. 第4次中東戦争が勃発し、日本への石油輸出が制限された。
- ウ. 5カ国蔵相・中央銀行総裁会議で、ドル高の是正が合意された。
- エ. 日米間で半導体の貿易摩擦が激化した。